



声かけあって
事故を起こさない!
起こさせない!
目指そう
安全・安心・楽しい
森づくり活動を!!

contents

- ★ 8月クラフト研修例会
8月25日(日)安佐南区山本町
「鹿ヶ谷ふれあい広場」
..... 2
- ★ 7月部会報告
クラフト: 岩田
里山 : 佐藤
..... 3
- ★ 第1回もりメイトキッズ
: 佐々木
..... 4
- ★ 夏井いつきさんと: 山本
- ★ 全国山の日参加者募集
..... 5
- ★ 追悼: 竹原顧問
..... 6
- ★ 新コーナー: 安全ゼミナール②
: 鎌田
- ★ 今月のひと枝: ミズメ
..... 7
- ★ 8月・各部会の活動予定他
..... 8



もりメイトキッズ。今年第1回のテーマは竹。「竹を知ろう、竹を切って利用しよう」P4にて

私たちも 森づくりを応援しています。

- ◆ 株式会社ニシナ屋珈琲 ◆ ゆめみらい株式会社
- ◆ 株式会社東和テクノロジー ◆ こだまクリニック
- ◆ 中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり
- ◆ 公益財団法人 SOMPO 環境財団

《ご支援を誠にありがとうございます。順不同・敬称略》

『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

- みんなで森づくり: 健康で生き生きした森を育てます。
- 森を育てる技術を磨く: 森づくりを学び、日々実践・研鑽。
- 森から学ぶ: 人と森との関わりを学びます。
- 森の恵みを伝える: 恵みを利活用し、広げる活動。

例会

倶楽部のメイン行事(原則第4日曜日)
地域と共に活動。技術安全研修を実施。

もりメイト倶楽部 Hiroshima は1997年から活動している団体です。広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています!

広島市民賞、ひろしま県民活動県知事賞、広島ユネスコ活動奨励賞、全国林業普及協会会長賞など受賞歴多数。



8月はクラフト研修【担当5班】



みんなで作ろう！楽しもう！「クラフト体験」

活動で発生する伐材はできるだけ林地に放置せず、燃料や工作に有効利用することが重要。クラフト部会では材の調達や製材、依頼事業に対応する部材の用意など「森の啓発部門」を担当しています。研修会では部会の基地、鹿ヶ谷工場の見学&木工クラフトの楽しさ、魅力を存分に味わいつつ、もの作りにチャレンジしてみましよう！！

◆日時：8月25日（日曜）9時00分～15時00分小雨決行

◆会場：NPO 法人里山環境保全みどり会の活動基地
「鹿ヶ谷ふれあい広場」安佐南区山本町

◆持参物：手袋・名札・弁当・汁椀 汁の提供有り

◆申込み：8月14日（水）までに各班長へ連絡。

※ ご自分の班が不明の方、賛助会員その他参加希望の方は 事務局へ電話かメールでご連絡下さい。
090-6419-7531 : info@morimate-ch.com

※道中道が狭く、「鹿ヶ谷ふれあい広場」ナビルート案内していますが難です。初めての方、車体が大きい方で運転が心配の方は申し込み時に班長に連絡を！！集合時間、場所を知らせ相乗りか先導します。

■2007年発足の「NPO 法人里山環境保全みどり会」は会員が自ら楽しみながら、子どもからお年寄りまで広く市民に喜んでもらえるような里山づくりを進め、炭焼き、木工、ホタルやカブトムシのすむ環境づくり、登山道、遊歩道整備、ビオトープづくりなどに取り組んでいます。

■2016年1月にクラフト部会の主要活動場所をこちらの所有地に移転しました。

■経緯は、それまで拠点としていた場所を急に返還しなければならなくなり、次の場所探しも方々に断られて困っていました。

■あるご縁から、みどり会の前代表の稲田氏を紹介いただきお願いに伺ったところ、喫緊の事情であることを受け止めて下さり『困っておられるならどうぞお使い下さい』と即決でお返事をいただきました。その時の優しい笑顔は今でも忘れられません。おかげ様で安住の地を得て、落ち着いて活動を続けることができています。感謝！（記 山本理事長）



Welcome 鳥居&ふれあい広場



森の動物園をイメージして大型を作成予定

～9月例会は、2班の担当です。22日の第4日曜に予定しております。詳細は9月号会報にて～



7月クラフト部会 クラフト部会長 岩田幸信

7月20日(土)住宅展示場アスタで開催されたアスタ・サマーフェスタで「～間伐材でつくろう～森の工作教室」のクラフト指導依頼があり、6日・13日(土)の両日は、部材作成及び準備作業を行いました。(7月の部会参加者は16名参加でした)。

サマーフェスタは、指導員午前は末本さん・高杉さん。午後から山本理事長・見勢井顧問が指導員として参加(私は1日)しました。午前中は雨模様で、これは午後から忙しくなると予想していましたが、思惑道理にはいかないもので、午前中は忙しく休憩時間も取れないまま工作指導を行いました。午後からは参加者も少なく、参加者とゆっくり話をしながら倶楽部のアピールと工作指導を楽しむことができました。午前中は出来なかったヒノキの間伐材の輪切りやロボット・箱庭・木絵・蝶々の指導を

行いました。イベント参加者は85名。忙しい1日でしたが、指導会場が屋内だったので快適な環境の中で過ごさせていただきました。

因みに、この日の最高気温34度。同時開催で魚の掴み取りも行われこちらも賑わっておりました。

8月のクラフト部会は、3日(土)・10日(土)共に鹿ケ谷で行います。来年の干支の置物の蛇のアイデアを募集しています。是非ご応募を！なお、25日のクラフト研修も鹿ケ谷で行います。多数のご参加をお待ちしています。今月の31日(土)は尾長小で木工クラフトを予定しており、これから年末までクラフト指導が目白押しとなります。木工クラフトを楽しみ、指導員の経験をする良い機会ですので是非とも参加して経験を積んで力をつけてください。よろしくお願いいたします。



鹿ケ谷で日よけテントを張っての作業風景



サマーフェスタ優秀作品(箱庭)



午後の指導員。見勢井顧問と山本理事長



7月 里山部会 里山部会アシスタント 佐藤 謙治

～7月14日(日) 場所：妙國寺里山景観整備作業 9:00～14:00 天候：雨。参加者7名～

<作業内容> 5月12日の里山部会は大雨(5mm/h)で中止。6月9日も雨(3mm/h)でしたが、放置はできず雨天決行。7月14日も雨(4mm/h)雨天決行。里山の雨作業が好きな7名の部員が集合。薪乾燥小屋 No2 で壁の構築用壁材として、妙國寺竹林整備時の除伐マダケ利用。2年前の除伐竹ですが棚済み場から60本収集し2mに加工作業と先月の会で植え付けしたソキアが鹿の食害に……。柵内あずまやに移植。5月に故本廣様より頂き植樹したイチヨウが、梅雨で多湿(旧田んぼに植樹)に起因だと思いが樹勢が無く四阿横に移植。ご住職紹介で近所の裏山伐採材を薪他に利用出来ないかの申し出があり下見を行う。昼食時にご住職より「ライチ」の差し入れ頂きながら、8月の活動は妙國寺(9:00～15:00)ベース。白木フィールドの地域貢献水路清掃班(8:00～10:00)*終了後妙國寺合流。作業としては薪小屋の整備、裏山間伐材の集材、フィールド内の草刈環境整備、5月植菌した椎茸原木の整備など、この3か月の雨からの解放から、一変真夏の炎天下の中活動します。春夏秋冬の屋外活動の好きな部員の皆様の参加お待ちしております。追伸：集材した間伐材を8月の例会「クラフト体験」の材として利用計画を進めています。



薪乾燥小屋 No2の壁の壁材を調達



間伐材の棚済み状況をご住職と視察



2024年度 <7月7日開催>

=第1回= もりメイトキッズ

参加：小学生 14名・未就学児 11名 保護者 19名(14家族)

スタッフ：15名・学生ボランティア 2名



梅雨の最中で天気が心配されましたが、そんな心配を吹き飛ばすほどの快晴。今年度最初のもりメイトキッズを開催しました。今年度のキャッチフレーズは

「もりとなかまと手をつなごう」。人と森に生息している動植物との関りを森林整備体験を通じて探ることをテーマに4回シリーズで行います。

第1回は“竹”。竹の特性を知り、人々が日々の暮らしの中でどのように竹と関り活用してきたのかをワークし、

さっそく竹林整備に取り掛かりました。

急斜面にある竹林での作業は大変でしたが、子ども達はスタッフの説明をよく聞いて、怪我無く無事に体験する事ができました。重力が掛かり次第に伐りにくくなる竹をどのように伐り倒すか、枝を払って伐った竹は見栄えよく並べる、竹は節のすぐ上で切ることで降った雨水が溜まらず蚊の発生を防ぐなど、作業のポイントもわかりやすく伝えられていたようです。



竹林整備の様子



学生とキッズ



ヨイショ、伐倒した竹を運ぶキッズ



みんな真剣！クラフトの説明

■お昼のメインはカレーライスとサラダ。森の中でみんなと一緒に食べるランチはやはり格別です。午後からは、伐り倒した竹を利用してクラフトを楽しみました。竹の輪切りを使ってカタツムリ作りに挑戦。タイミングよく本物のカタツムリがいたので、観察を交え作業を行いました。渦の部分は大、中、小の竹を輪切りにし、触角部分はサンダーで形を整えドリルで穴を開け、竹の節を触角にしました。意外に難易度の高い作業だったようで子供たちは苦戦していたようです。



二つに割ったタケにバターを塗りました。

■この度は、弟や妹など幼児の参加も多く、小学生と幼児に分かれそれぞれのプログラムに取り組みました。幼児チームは、森の中で保護者と一緒にビンゴゲームを楽しみました。ゲームを通してザラザラ、チクチク、スベスベ、フワフワなど自然の中ならではの感触を体感しました。その後は小学生が切った竹を利用して、ホットケーキを作りました。二つに割った瑞々しい竹の内側にバターを塗り、卵と、スタッフ北田夫妻自家製の梅入りジャム入りのタネを入れ、炭火でじっくり焼き上げました。ケーキは、おやつタイムに全員でいただきました。美味しかった～！



お父さんと一緒に竹を切りました。

■まるで真夏のような暑さでしたが、森の中のせせらぎや、木陰で涼しく感じる参加者が多かったようです。またアンケートでは『自然に触れ合う機会を子供に経験させたい』と言われる方が多く、森での整備や、恵み、危険について学び、森で遊ぶことで自然に親んでもらえるようなプログラムを色々考えていきたいと思っています。

『環境教育研究部会長 佐々木綾子』



カタツムリだよ



～平和でなければ人も自然も守れない～ 被爆桜をめぐっての出逢い「夏井いつき」さんと共演

理事長 山本恵由美



被爆桜を背に夏井さんと

きないので。平和活動はすべての活動分野に繋がります。詞の力で平和を創るために、上記2作品を歌ってもらえる仲間を探しています。これからも森づくりも平和活動も進めていきます！

TVで活躍されている俳人の夏井いつきさんにNHKの企画でお会いしました。ビシバシと芸能人に物言う印象とは真逆の、柔和でとても笑顔の素敵な方でした。

このご縁は敗戦10年後に発行された俳句集が発見され、広島から投稿した数名の被爆者を夏井さんが尋ねる番組で、取り上げられた川上政子さんとは作詞された『被爆桜』を通じて私と交流があり、彼女の人柄を伝えるため出演することに。

川上さんは桜の植樹など活動を行う私と出会い『被爆小桜の願い』を作詞され、世界のリーダーが広島に集い意識を変えてほしい。子どもたちに平和な未来を！と願った人。その思いを託されました。

皆さんは、もし戦争が起きたら、森林づくりボランティアの活動に参加しますか？平和でなければ人や自然を守ることは

被爆60周年 追悼『被爆桜』の植樹



歌人 川上政子さんと(撮影:平成20年)



全国「山の日」イベント参加者募集

～涼しい森を散策しながら藤ヶ丸山をめざそう！～

- 日時：8月10日(土)9時30分～12時30分 少雨決行
- 集合場所：広島市森林公園 林業体験広場
- 参加者対象：小学生以上
- 持参物：飲料、弁当、敷物
- 参加費：無料
- 定員：20名
- 応募締め切り：8月7日(水)
- 申し込み：広島市森林公園のE-mailへ直接

sinrin-park@midori-gr.com



山の日、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」国民の祝日。2014年に「山の日」が制定され、2016年に施行となりました。イベント当日は、もりメイト倶楽部のメンバーがスタッフとして同行します。絶景と涼風を体感しつつ、ゆっくりと自然観察を楽しみながら藤ヶ丸に登りませんか。

竹原顧問を悼んで

今年3月、クラフト部会の重鎮である 磯貝さんと副理事長 本廣さんが亡くなられ、悲しみも癒えないうちに竹原さんも・・・。

もりメイト倶楽部にとって無くてはならない諸先輩を偲び、この度は竹原顧問への想いを数人に代表で寄せていただきました。また、いつも倶楽部の活動に送り出して下さったご家族のみなさま、ありがとうございました。ご冥福を祈ると共に心から感謝いたします。



本廣さん、磯貝さんと一緒に 画 藤原京華

6月23日に逝ってしまわれました。3月16日に一緒に工作指導をした帰りの車内で、倶楽部の未来を語り合ったのに・・・。5月7日にご自宅にお邪魔した時もいっぱいお話をしたのに、もういらっしやらないなんてまだ信じられません。

入会されてから例会を中心に、すべての部会に積極的に参加され、そのほか小郡のランプの宿の遠征や様々な事業の講師など倶楽部の活動を深く知る貴重な存在。迷う時、確認をしたいときに相談をしては進む方向性が間違っていないか評価が聴ける叔父のように甘えることを許してくれた私の軸でした。貴方は「もりメイト倶楽部」の発展を一点の曇りもなく信じていましたね。そして諦めなかった。きっと後継者たちが頑張ってくれます。

愛したこの組織の未来を見守っててください。
理事長 山本恵由美

幾度目かの検査の後、予後を自宅で過ごすことを自身で選択されました。

5月16日、竹原さんから書斎を整理してくれとの依頼があり佐渡さんと出向きました。書斎には過去からの活動を物語る大量の書類があり、鹿ヶ谷で焼却処分するものや資源ごみに出すものに分別しました。時折気になる写真や書類が出てくる度に感慨深げに見ておられました。

竹原さんとの付き合いは、もりメイト倶楽部の他に日本退職者協会と云う組織がありまして、その翼下に24の部会があり、主として「男の料理教室」やPcBc(パソコン・写真)の部会、年2回のバス旅行等で長く深い付き合いをさせてもらいました。料理教室では誰よりも早く来られ、広い調理室で黙々と包丁を研いでおられた姿が目には浮かびます。PcBcではAIによる医療個人診断の現状を講義され、後に参加者に多くの質問を受けておられました。竹原さんは色々な事に興味を持ち、知識を得ることには貪欲で、またそれを他の人に伝えることに喜びを感じておられた様です。そしてこのことがクラフトの新しい作品を次々に生み、もりメイト倶楽部への助成金獲得への大きな原動力となったと思います。ご冥福をお祈りします。合掌

クラフト仲間を代表して 末本洋一

竹原さんとは倶楽部で知り合い、環境教育研究部会にお誘いいただき、そして同じ会社の先輩でした。もりメイトキッズと一緒に企画、活動する中で私が「かまどがあったら便利」、と、お願いしたら、クラフト部会の有志を集め作ってくださったことは楽しい思い出として心に残っています。竹原さんから環境教育研究部会の部会長をお願いされ承諾した際「安心した」と言われたことで、私でもこの倶楽部での存在意義があるのだと思い、今でも感謝しています。

安らかにお眠りください。

環境教育部会長 佐々木綾子

皆様に久しくご無沙汰しています。

竹原さんの 思い出は・・・

環研の部会長をひきついでいただき、助成金の申請など大変なこともこなされ、頼もしくもほんわかと温かい存在でした。

時におうちに電話すると、奥様が「けいかちゃん」と呼んでくださり、奥様は虫が苦手だから山にはおいでになれないのでお会いしてないのですが、お家で私のこと含め いろいろな話をされて、仲よし夫婦なんだなあと 感じたことが思い出されます。

初代環境教育研究部会長
岡山在住 藤原京華



いつも例会で安全を喚起して下さる鎌田さんから「安心、安全への道」をテーマとしたコラムをお寄せ頂きました。みんなで楽しく活動し、目標を目指す為には、何よりも安全の確保！が大切です。しっかり学んでいきましょう。

② 活動現場に潜むリスク(安全監視員から見て)

人は動き回る

視界には限界あり。例えば樹木の後ろに見え隠れ。監視員がいても見切れないことも多々ある。自分の身は自分で守る！！



- ・ 山での活動に於いて上下作業は禁止。
- ・ 各グループでの作業時、チェーンソーは1台
- ・ 伐倒時、樹高以上の距離(2倍以上)を保つ
- ・ チャフスやフェイスガード、イヤーマフなど装備の携行を。個人&グループ

事故は一瞬！

(まばたきほど)

危険を見逃さない限界(距離)とは？

作：鬼鎌 (鎌田さんのお父様の愛称。)

今あひこ枝

原田 澄



ミズメ (水目・水芽)

<カバノキ科・カバノキ属>

日本固有種の落葉高木。カバノキ科の仲間では高さが最大級。本州の岩手県以南、四国、九州に分布。葉は葉身6～13㍍の卵形で先端は鋭くとがり、ふちに短い重鋸歯を持ち、長枝では互生、短枝には1対つく。樹皮には横に長い皮目がありサクラに似るが銀灰色。枝や幹には傷つけるとサロメチールの匂いがあり、ヨグソミネバリ(夜糞峰榛)の名を持つ。また、アズサ(梓)とも言い材質が強靱なため神事に使う梓弓や道具の柄に使われた。ミズメとは樹皮を傷つけると水のような樹液が出ることから・・・▼ヨグソミネバリ。一度聞いたら忘れられない名。口にするのもためらうが、昔の人には不快な匂いだったのかも。ただし、この独特な匂いは魔除け効果もあったと聞く。▼強烈な香りで印象に残る樹であるが、葉の個性が乏しく見逃してしまいがち、久々の出会いであった。▼今年も間もなく、決して見逃してならない日が訪れる。被爆地ヒロシマの声を今こそ世界へ！～佐伯区湯来町 2024・7～



— 8月 — 活動の予定

倶楽部には多彩な部会もあります。いろいろな活動にチャレンジしてみてください

- 日時：8月4日(日)9:00~15:00
- 場所・：スクウスクウの森(妙國寺裏)
- 場所・作業 A：白木 F：水路清掃と草刈り 8:00~10:00
B：妙國寺 F：間伐材の搬出・薪割り小屋・環境整備。
- 持参品：水筒・山の道具・妙國寺より昼食準備いただきます。
参加者は連絡を。
- 作業：伐採木の搬出、薪割り、環境整備他
- 持参品：水筒・弁当・山の道具
- 連絡先：佐藤 090-1682-6305
satoken069@yahoo.co.jp *メール希望。

里山部会

会報メール配信へのご協力をお願い

毎月発行の「もりの手紙」。今、郵送とメール便にてお届けしておりますが、今年10月から84円の郵送料が110円に値上がりします。今現在、郵送便で受け取られている方々で、メール便が可能な方は、下記までご連絡ください。ご協力よろしくお願い致します。

info@morimate-ch.com

- 日時：9月2日(月)第1回「もりメイトキッズ」
前回の反省と第2回のキッズの打ち合わせを行います。
- 場所：袋町交流プラザ
【第2回キッズ：9月29日(日)】
～山歩きの道を整備、さあみんなで探そう～
子どもたちとふれ合い、環境教育を学びたい方は是非スタッフに加わってください。待っています。
- 連絡先：佐々木
sasaki@morimate-ch.com

環研部会

「自分が作りたいクラフト作品」お手伝いします！

～参加お待ちしております～

- 3日、10日(各土曜)鹿ヶ谷で作業
- 連絡先：岩田 080-5751-3798

クラフト部会

9月号の会報発送作業は下記の通り、実施します。
どなたでも、都合のつく方はご参加ください。

- 日時：8月28日(水)18:00
- 場所：袋町市民交流プラザ3F



会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って森林保全の整備活動を展開しています。会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた木材を利用した木工クラフトの作成指導、青少年等に森林管理の重要性を伝えています。私たちの活動に共感、賛同して一緒に活動していただける方、またはご寄付を募集しています。

会員の種類

- 【正会員】：倶楽部の実作業と組織運営に積極的に関わる、個人及び団体。
- 【賛助会員】：倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

年会費

- 【個人会費】：3,000円
- 【企業会費】：50,000円

会費・ご寄付の振込先

【広島銀行 白島支店】(普) 3 2 8 3 3 8 3
【ゆうちょ銀行】1 5 1 7 0 - 1 8 0 2 9 2 9 1
《口座名》：トクヒ) モリメイトクラブヒロシマ

お申込み方法

下記まで電話、又はメールで
【電話】090-6419-7531
【Email】info@morimate-ch.com